

関西学院大学ビジネススクール(経営戦略研究科) 春季連続セミナー

イノベーション創出のためのマネジメント基礎講座

企業価値を高め、競争力を向上させるためには、新しい製品・サービスやビジネスモデルの絶えざる変革が不可欠です。国家レベルで見ても、団塊世代の大量退職や少子化による労働力の減少、貯蓄率の低下による資本の減少が不可避な中、ゆとりと豊かさのある国民生活のために今ほどイノベーションの重要性が高まっている時代はありません。

関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科では、大学の社会貢献の一環としてイノベーションのマネジメントに関する最新の知識をわかりやすく提供する連続セミナーを企画いたしました。

* 参加費無料、事前申込不要です

第1回

6月6日(水)

19:00~21:00

「イノベーションマネジメント入門」

経済産業研究所ファカルティフェロー、

関西学院大学経営戦略研究科准教授

玉田 俊平太

第2回

6月13日(水)

19:00~21:00

「小泉内閣における官邸主導の政策決定システム」

前内閣総理大臣秘書官 経済産業研究所シニアフェロー

岡田 秀一

第3回

6月20日(水)

19:00~21:00

「シャープにおける家電商品分野の事例にみる製品開発マネジメント」

元シャープ(株)情報家電開発本部副本部長兼AV商品研究所長

関西学院大学経営戦略研究科教授

服部 宏紀

第4回

6月27日(水)

19:00~20:30

「知的資本経営

——証券アナリストの視点とリアル・オプションによる評価」

関西学院大学商学研究科教授

榊原 茂樹

* 会場は、すべて大阪梅田キャンパス1004教室(アプロズタワー10階)です。

* アプロズタワー(大阪市北区茶屋町19-19)

JR大阪駅 御堂筋出口から10分

阪急梅田駅 茶屋町出口から5分

<問い合わせ先>

関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科

tel : 0798-54-6572

e-mail : iba@kgo.kwansei.ac.jp

◇ 講 義 内 容 ◇

● 第 1 回 「イノベーションマネジメント入門」

安倍政権が発足し、イノベーション担当大臣が置かれました。それではイノベーションとは何でしょうか？ 発明（インベンション）とは何が違うのでしょうか。企業でイノベーションが活発に生まれるためにはどのようなマネジメントが必要なのでしょうか？ 本講義では、イノベーションマネジメントの基礎知識を学ぶとともに、大企業を破壊に追い込むイノベーションとして近年注目を集めている破壊的イノベーションについても理解を深めます。

● 第 2 回 「小泉内閣における官邸主導の政策決定システム」

イノベーションを加速させるためには、国のイノベーションシステムに関する理解が不可欠です。小泉内閣は、経済、財政諮問会議などを通じて、内閣主導、官邸主導により様々な構造改革を実行に移してきましたが、その政策決定の仕組みやプロセスなどについて、5年半の総理秘書官としての経験などを交えながら、わかりやすく紹介します。

● 第 3 回 「シャープにおける家電商品分野の事例にみる製品開発マネジメント」

商品は時代のインフラやそれと技術との相互作用をとおして不断に変化してきました。思い付きや当てずっぽうを廃しできるだけ客観的で正確な情報で企画立案すべく、現在が何から何への変化なのか、その必然的な過渡期の姿を捉えることが何よりも大切です。そして『このように**変化して行く**』を『このように**変化させて行く**』という捉え方をして計画・立案して行くことが戦略的製品開発の基本です。このようにして行われる製品開発は一方では極めて創造的な営為でありながら、他方では事業経営の一環として性能・コスト・品質・納期といった全ての商品価値を厳しく問われる設計行為です。『設計とは何か?』という問に答えながら幾つかの具体的な製品開発マネジメント事例を追ってみたいと思います。

● 第 4 回 『知的資本経営——証券アナリストの視点とリアル・オプションによる評価』

企業が 21 世紀の熾烈な国際競争に打ち勝ち、その生存と成長を図るには、生産設備や建物といった目に見える有形資産と並んで、研究開発能力、特許、商標、ブランド、従業員の満足度、経営者の能力といった目に見えない無形の資産が重要な戦略的ファクターだと認識されるようになりました。企業価値の創造のために知的資本をどのように構築・維持・拡大させるか、自社がいかに優れた知的資本の宝庫であるかをさまざまなステークホルダーにどのようにレポートするか、といった問題が、経営者にとっての戦略的課題となってきています。

本講義では、企業を評価する証券アナリストがさまざまな知的資本をどのように認識しているかのアンケート結果を紹介し、知的資本を評価する有力な方法であるリアル・オプションの考え方を解説します。